

『臥龍梅』 蔵便り

平成二十三年霜月



拝啓 晩秋の候となりましたが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。

今月は、10月21日の金曜日に地元清水で開催された**駿河路酒メッセ**についてご報告いたします。このお酒の会は、弊社を含め清水税務署管内の4社の酒造メーカーが共同で開催するお酒の会で、早いもので、今年で第16回となります。以前は市内のバンケットホールで開催しておりましたが、小生の発案で、昨年から JR 清水駅近くの公共施設「清水テルサ」に会場を移しました。各蔵が従業員総出でテーブルの設置からお酒とお料理の配膳、後片付けまで行う手作りのイベントにしたのです。その甲斐あって入場券は全席指定完全前売り制で、4,000円に抑えることが出来ました。今年も大好評で、200枚用意した入場券がなんと開催日の一ヶ月以上前に完売してしまいました。地元清水の名物イベントとして定着してきた感があります。市内の料亭「よし川」さんにお酒に合う仕出し料理を用意してもらったのは昨年と同じですが、今年は由比の「さすぼし蒲鉾」さんに揚げ立ての蒲鉾をブースで無料提供していただきました。テーブル対抗利き当て会、抽選会と、楽しい祭り事が盛りだくさんですが、特に「**杜氏の隠し酒コーナー**」と題したコーナーでは、各蔵がブースを設けて他所では飲めないレアアイテムを用意しました。弊社では愛山の純米大吟醸、山田錦の純米大吟醸袋吊り、活性にごり酒等を用意しましたが、用意したお酒は好評のうちにはすべてなくなってしまいました。このイベントのためにわざわざ東京からお越しいただいたお客様もおいでになりました。この場を借りて御礼申し上げます。



ところで、先日、留守中に名古屋国税局から電話が入っておりました。社長あてとのことで、戻り次第連絡されたしとのこと。またお小言でも食うのかと恐る恐る電話してみますと、「秋の名古屋局主催の鑑評会で吟醸の部に入賞しました。おめでとうございます。ついては代表で賞状を受け取っていただけますか、」との話です。ということは、臥龍梅が東海4県でトップの成績だったということです。もちろん二つ返事で出席をお約束しました。こんなお話なら大歓迎です。代表で賞状を頂くのは確か3回目か4回目になると思いますが、名誉なことでは何回でも頂きたいものです。

さて、製造についてご報告いたします。先月の蔵便りでお知らせしたような事情で、今年は例年に比べて蔵入りが若干遅れましたが、11月4日時点で仕込み7号の留めが無事終わりました。順調にいけば今月20日過ぎには仕込み1号を上槽し、漸次新酒の出荷準備が整う予定です。月内には恒例の五百万石を用いた純米吟醸袋吊零酒と無濾過生原酒をお届けできるものと存じます。皆様お楽しみにお待ちください。



向寒のおりから、どうぞご自愛ご専一に。

平成23年11月吉日

敬具

鈴木 克昌